

もともとての輪

つないでいく地域のこれから

その 5

診療所だより

第四四七号（8月号）

発行（医）宏友会
上田診療所
酒田市上野曽根
字上中割73番地
TEL.0234-27-3306
責任者 矢島恭一

外部の人を受け入れて
気づく地域の良さ・強み

四か月に渡り、ほくぶ地区の各コミュニティ振興会の皆様より地域のこれからについてお話を伺ってきました。今月号からは、地域に住む皆さんの声をお届けしたいと思います。

今回お話を伺った村上淳子さんは、生まれも育ちも本楯という生粋の本楯っ子です。本楯保育園の食育プログラムや宏友会の福利厚生で行なっている野菜販売などにお力添え頂いています。村上さんはこれまで、地域の農業を盛り上げようとグリーンツーリズム協議会に長年携わってきました。

村上 淳子さん

農業は、高齢化や担い手不足、新規参入の難しさといった様々な問題を抱えています。農家を生業としているご本人も農業は気候や社会情勢の影響を受け易く、厳しい状況に置かれることもあり、子供や孫に継いでほしいと簡単には言えないことや農業を心から好きでないと継続することも容易でないと話されます。それでも農業に触れる機会を設けることで少しでも身近に感じてもらい、間接的にも農家に関わる人を増やしたいという思いで、協議会の活動を続けてきました。農業体験の参加者が見せてくれる笑顔や「美味しい！」という言葉に、その取り組みの意義を感じています。

体験を通して、本楯の事を知らない参加者にこの土地の良さを知ってもらうことは、自身にとっての地域発見に繋がります。住民が知っているようで知らない魅力を見つけて発信していくことがこ



美味しそうな新鮮オクラ

れからは重要であると考えている
そうです。

私たちに期待したいこと

本楯地域計画の紹介の際に挙げたスーパーの閉店は、この地域に大きな影響が出ています。お茶飲みの話題も専らそれであり、住み易さや地域の持続性を考える上で懸念事項となっています。近郊のスーパーへの送迎や移動販売の活用が広がっていますが、産直所やマルシェの企画など、この地域の資源を大いに活用した地域発の一手が必要です。

人が集まり、会話からアイディアは生まれます。私たち法人の若い世代には大いに期待したいと話されています。早い時代変化の昨今、まずは動いてみるのも良いのかもしれないね。

うららにて大好評の野菜販売

シリーズ「ふるさと」

その196 山の神

飛島の総合センター付近の海に飛び込み遊泳すると、別世界を旅した気持ちになる。かわいい魚に出会い背中をなでやりたい気分になるが、カサゴやオコゼの背びれには毒がある。



魚の代表はオコゼで、人を殺す強い毒を持っている。オコゼは「おこぜ＝醜い・ぜ（魚名の語尾）」が名前の由来で、醜いものの代名詞であるが、美味しい高級魚である。

山里に「山の神」が祭られているが、山の神は風貌が醜いうえに嫉妬深い女神であった。自分よりも醜い「オコゼ」の供物を見ては優越感で大喜びをしていたようだ。この女神のもう一つの弱点は

「男好き」であった。気に入った男にはクマやイノシシをたくさん捕らせ、嫌いな男の時は嵐を巻き起こした。昔、マタギは山の神の機嫌を損なわぬように、一斉に禪をペロリと外し、山の神に向かって無事を祈願して山に入っていたようだ。現在のは木の枝などで珍品を作り奉納しているらしいが、いたくお気に入りのおかげで入りのよう

妻を「山の神」と呼ぶのは、「山を守る神」と「家を守る神」を重ねた尊敬のことばのよう

だ。近年、「山の神」とはあまり言わなくなったようだ。家事も育児も夫婦で行う時代になり、山の神も時の流れで様変わりしたからだろうか。（庄内 平也）

矢島先生！お誕生日おめでとうございます！



後期高齢者医療制度
加入の皆様へ

令和7年8月からは新しい色の資格確認書をご使用ください！

7月まで使える **水色の**
被保険者証または資格確認書

8月から使える **桃色の**
資格確認書

※資格確認書を医療機関・薬局窓口で提示すると、被保険者証と同じように受診できます。

ホットニュース

令和6年12月2日より
従来の保険証の新規発行が行われ
なくなりました。



マイナ保険証での資格確認に
ご協力をお願いいたします！

国保の方は市町村からのお知らせをご確認ください

久しぶりの札幌

矢島 恭一

6月にお休みをいただいて、札幌で開催された日本プライマリ・ケア連合学会学術大会に当法人の職員3名と行ってきました。

この学会は、比率的に医師が多いが、多職種で構成される学会なので、シンポジウム、教育講演、ポスター発表などに興味深い演題が多いのです。

今回参加した職員は、看護師、リハビリ、管理栄養士で、それなりの手応えを感じて帰ってきたようです。

私は、シンポジウムを中心に聴講し、「プライマリ・ケアDXアップデート」と「死生学、遺族外来、そしてコンパッション都市へ」「そこ・そこ」の悲しみに寄り添うための2つが、とくに印象深い学びの場となりました。

ここでいう「そこ・そこ」とは、今年の学会のメイン・テーマが、「そこ・そこ」のプライマリ・ケア、それぞれの場で、ふさわしくあるにはどうだったことから使われた言葉だと解釈しました。

私がこれまで展開してきた地域医療も在宅医療も、この地域で必要な医療は何か、最良の医療を実現するには何が必要かを模索しながらやって来ました。

最初に挙げた「プライマリ・ケアDXアップデート」は、むしろ当地区の取り組みの方が進んでお

り、10年以上前酒田で始まった活動が、今始まろうとしている地域もありました。

当地区との共通点は、医師の偏在、医師の高齢化に直面しており、喫緊の課題となっていることで、そんな情勢の中で、デジタル機器の導入は避けて通れないところです。例えば訪問診療を行うための医療機器を積んだ医療Maasと呼ばれる車。近くでは八幡地区などで積極的に使われ始めていますが、この先が私には見えません。



現場とクリニック間でオンライン診療をやった時の診療報酬面での裏付けがないなどデジタル機器を利用した場合の制度設計がまだ進んでいないのも気になることです。

診療報酬などは社会保障問題の一分野として検討されており、現在のようない医療費抑制策が続く限り、発展しないのではないかと私は考えています。

もう一つのシンポジウム「死生学、遺族外来、そしてコンパッション都市」は、過疎化していくこの地域に

思いやりのある地域づくりが必要になってくるという内容でした。まさに私自身が目標とするもので、強い衝撃を受けました。「コンパッション都市」については、また別の機会に書きたいと思っています。

ところで全国各地で開かれる学会に参加するもう一つの楽しみは、ご当地名産の食を味わうことです。

今回の行程を考えながら、「ここで何を食うか」を思案するのも楽しいものです。その役はいつも私です。

同行者の希望は、ジンギスカン料理と札幌ラーメンでした。

まずはジンギスカン。着いた日の夕食と考えていました。以前の学会で懇親会の場となったのが、サッポロビール園。その時の味が忘れられず、出発前に予約を取ろうとしたが、希望のコースは満席でダメ！

予約できたのは、同じビール園の中でも高級感漂うお店でした。ここではラム肉の他に牛肉も出てきて、ビール園でしか味わえないビールとともにゆったりした時間を過ごすことができました。

最後の日に実現したのが、本場の札幌ラーメンでした。実は前日の夜にお店の場所を確かめて向かったのですが、なんとその近くに、なぜか博多ラーメンの店があるではありませんか！九州出身の私だけは、札幌で博多ラーメンを食べて、大満足でした。へそ曲がりだねえ。



子どもたちの
笑顔ひん

本楯保育園

▶ コロナ明けの久しぶりのライブ参戦！
in 希望ホール

▶ 健診前の贅沢パフェ♡

vestagram



介護支援専門員
齋藤 夕子



職員が撮ったお気に入りの紹介します★

富山市在住の土田芳男さん（百歳）より届いた絵手紙をご紹介します。



絵
手
紙

今
月
の



答えは
来月号です♪



7月号の答え ① 寡黙 ② 雨季

一文字の漢字がパズルになっています。この漢字はなんでしょう。

脳トレ
アタマの体操



お知らせ

医師都合により

8月22日（金）
8月23日（土）

は休診となります。

ご理解・協力のほどよろしく
お願いいたします。



発熱・風邪症状（のどの痛み・鼻水・咳等）がある方は受診する前に必ずお電話でご相談ください。
電話をせずに来所してしまつた方は診療所内には入らず、駐車場から一度お電話していただき、当方からの指示に従ってくださいますようお願いいたします。

編集後記

村上さんへのインタビューの中でこれからの地域を担う者として法人施設を利用している方以外にも届くような取り組みを行い、広く還元して欲しいというお声をいただきました。背筋が伸びる思いです。
（平井）